

井上尚子 Hisako Inoue

津田道子 Michiko Tsuda

めぐる、身体。

「めぐる、身体。めぐる、丸の内。」展は、アーティストの井上尚子と津田道子を招き、身体性をキーワードに鑑賞者自身が匂いを手がかりにさまざまな記憶を呼び覚ましながら街の中を歩き回ったり、街の地形や変遷を垣間見るようなオリジナルのランニングコースを走ったりすることで楽しむ参加・体験型のアートプロジェクトです。

開催地である大手町・丸の内・有楽町(大丸有)エリアは国内外の企業が集まるビジネス拠点として知られています。また日本が近現代を通してその姿を大きく変えていく中で、政治や経済の発展において中心的な役割を果たした場所でもあります。

会期中は、ウォークやランイベントが実施されたほか、Slit Park YURAKUCHOとYAU STUDIOの各会場では、それらのプロジェクトをめぐるコンセプトやリサーチの記録を紹介するオブジェや映像、マップ、ドローイングなどが展示されました。このささやかなアートによる企てに参加された方が、普段、一人一人が背負っている肩書きを外して、自らの身体を使って街をめぐることで、その人自身やこの街の新しい魅力を発見する機会となったことを願っています。

最後になりますが、展覧会開催にあたり、多大なご尽力を頂きました井上尚子氏、津田道子氏をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

2024年1月 東京藝術大学キュレーション教育教育研究センター「展覧会設計演習」

井上尚子 | Hisako Inoue

美術作家。環境、文化、歴史を匂いの記憶から楽しむ「くんくんウォーク®」を教育機関、美術館、図書館、植物館、企業、公園、空港など国内外で開催。2022年、渋谷公園通りギャラリー、千葉市美術館、横須賀美術館、森美術館等でワークショップ開催。2017年ドイツのMuseum Villa Stuck in Munichにて「The Library of Smell」(共同制作:白須未香+柴山拓郎)展覧会+ワークショップ開催。WWFジャパンと全国の動物園にて「においでめぐる動物園」開発・実施(2019年グッドデザイン賞受賞)。「六本木アートナイト2018」参加。
<https://kunkunwalk.jimdo.com/>

本展は、東京藝術大学キュレーション教育研究センターが開講する2023年度公開授業(社会共創科目)「展覧会設計演習」の授業の一環として実施されました。

〔展覧会概要〕

東京藝術大学キュレーション教育研究センター「展覧会設計演習」企画展

展覧会名 | 「めぐる、身体。めぐる、丸の内。」
会期 | 2024年1月13日(土)–20日(土) 11:00–19:00(会期中無休) 入場無料
開催場所 | Slit Park YURAKUCHO(東京都千代田区丸の内三丁目4-1)、YAU STUDIO(東京都千代田区丸の内三丁目1-1 国際ビル7F)、大丸有エリア各所
来場者数 | 503名

主催 | 東京藝術大学キュレーション教育研究センター
共催 | 有楽町アートアーバニズム(YAU)
特別協力 | Slit Park YURAKUCHO、東邦レオ株式会社
協力 | TARO NASU、bois de gui

〔関連イベント〕

井上尚子「くんくんウォーク」&ワークショップ
日時 | 2024年1月13日(土) 14:00–16:00
開催場所 | Slit Park YURAKUCHO、YAU STUDIO、大丸有エリア各所
参加者数 | 13名

YAU SALON vol.20 「くんくんウォーク」&「匂いと記憶」のアートについて
日時 | 2024年1月17日(水) 18:30–20:30 (18:30 くんくんウォーク、19:30 トーク)
開催場所 | Slit Park YURAKUCHO、YAU STUDIO、大丸有エリア各所
トーク開催場所 | YAU STUDIO
スピーカー | 井上尚子×白須未香(嗅覚研究者)
参加者数 | ウォーク11名、トーク60名

津田道子「and run めぐる、丸の内。」
日時 | 2024年1月20日(土) 9:00–10:30(約5km、しっかりコース・経験者向け)、14:30–16:00(約2km、軽めコース・初心者向け)
開催場所 | YAU STUDIO、Slit Park YURAKUCHO、大丸有エリア各所
参加者数 | しっかりコース10名、軽めコース9名

津田道子 | Michiko Tsuda

アーティスト。インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多様な形態で、鑑賞者の視点と動作によって不可視の存在を示唆する作品を制作。主な個展に、2023年「so far, not far」(金沢アートグリ)、主な展覧会に、2021年「アジア・パシフィック・トリエンナーレ」(QAGOMA、ブリスベン、オーストラリア)など。2021年より金沢美術工芸大学准教授。Tokyo Contemporary Art Award 2022–2024 受賞。
<http://2da.jp/>

〔謝辞〕

本展開催にあたり、多大な協力を賜りました下記の諸機関、関係者の方々に深く御礼申し上げます。
また、ご協力をいただきながら、ここにお名前を記すことのできなかった多くの関係者の方々に深い感謝の意を表します。(敬称略・順不同)

井上尚子	白須未香
津田道子	上田陽子
	安井 彩
Slit Park YURAKUCHO	河原大輝
東邦レオ株式会社	北嶋由紀
三菱一号館美術館	川村格夫
三菱地所株式会社	中川陽介
TARO NASU	相澤安嗣志
bois de gui	石崎りり子

〔展覧会設計演習〕

東京藝術大学 履修生	社会人 受講生
伊藤春乃	東 孝彦
岩橋明梨	稲員未来
毛塚もも	梅宮 優
後藤理菜	佐藤尊彦
神道朝子	谷 さゆり
杉本温子	都筑晃子
平松那奈子	戸羽正晴
	野瀬 綾
	橋間有里
	前田高輔

難波祐子(東京藝術大学キュレーション教育研究センター 特任准教授)
東海林慎太郎(展覧会設計演習アシスタント・コーディネーター/有楽町アートアーバニズム)

キュレーション教育研究センター | <https://ccs.geidai.ac.jp>
有楽町アートアーバニズム | <https://arturbanism.jp/>
Slit Park YURAKUCHO | <https://wick-slitpark.studio.site/>



上段 | 井上尚子「くんくんウォーク」 撮影 | 石崎りり子 下段 | 津田道子「and run めぐる、丸の内。」 撮影 | 中川陽介

井上尚子 くんくんウォーク

井上尚子は、匂いが人間の記憶を呼び起こすという特性に着目し、環境、文化、歴史を匂いの記憶から楽しむ「くんくんウォーク®」を教育機関、美術館、図書館、植物館、企業、公園、空港など国内外で開催してきました。

本展では、関連イベントとして丸の内を舞台に「くんくんウォーク」を行い、参加者とともに街の匂いを探りました。ウォーク後にはマップを作成し、匂いの発見を通じて見出された街と参加者自身の内面との関係性の可視化を試みました。また会期中には持ち歩き用マップを配布し、各人が自由に行う「くんくんウォーク」をサポートしました。Slit Park YURAKUCHOとYAU STUDIOの2会場では、大丸有エリアの街の匂いに関する展示を行い、ビジネス街であると同時に、ショッピングや食事、アート鑑賞といった楽しさを求めて人々が集まるこの街の匂いを「ワクワクする(楽しい)匂い・街を支えている匂い・憩いの匂い」に分類して、それらを想起させるような街で見つけたオブジェクトを展示しました。またYAU STUDIOでは、これらの匂いを実際に嗅ぐことができるようにしました。

匂いの記憶について

私たちは、匂いを味覚に見立てて「甘い匂い」、「酸っぱい匂い」、「辛い匂い」等と表現します。嗅覚と味覚は他者と共有できない感覚だからこそ、自分だけの唯一無二の感覚で、経験した匂いを脳に記録し、歳を重ねるにつれてその記憶の引き出しは増えていきます。現代人は、何事にも正解・不正解を瞬時に求めがちですが、匂いの感受は自分の生い立ちから培った感性であり、全てが正解です。また、嗅ぎ慣れた匂いには安心感を抱き、初めて嗅ぐ匂いは、脳に新たな刺激を与えてくれます。展覧会では、参加者が感性を開いて、新しい自分を発見する機会を提供できたと思います。

井上尚子

1, 2, 3 | 「くんくんウォーク」とワークショップを楽しむ参加者
4 | 展示風景 (YAU STUDIO) 5 | 展示風景 (Slit Park YURAKUCHO)
撮影 | 石崎り子 (1, 2, 3) / 中川陽介 (4) / Tokyo Tender Table (5)



津田道子 and run めぐる、丸の内。

津田道子は、人々のふるまいがその土地や空間などの環境の影響を受けていることに着目し、映像メディアの特性を活かしたインスタレーションやパフォーマンスなどを手がけてきました。津田は、「走ること」を身体をもつ誰にでも開かれた行為として捉え、2023年8月に石川県・金沢市でランニング・プロジェクト「and run」を開始しました。そこから派生した、本展のプロジェクト「and run めぐる、丸の内。」では、都市の中で走ることに焦点を当て、リサーチやフィールドワークに基づいて考案しました。また会期最終日には、丸の内の地形の特徴やまちづくりの変遷を垣間見ることができるオリジナルのランニングルートに参加者と共に走りました。近現代の日本の変遷を色濃く反映し、現在は国内有数のビジネス街である丸の内、肩書きを外し、普段とは違うリズムで街中を走ることによって、日常を異化し、参加者自身が都市の歴史や空間・システムと個人の身体との繋がりを再発見するきっかけとなったことでしょう。

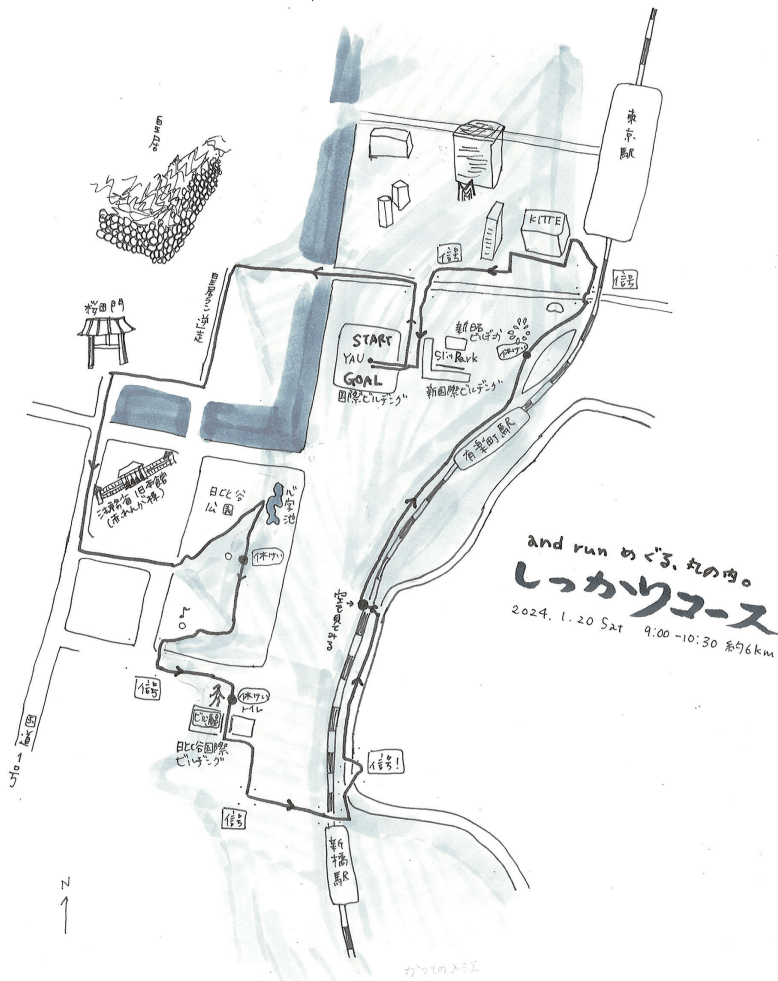
「and run めぐる、丸の内。」に関連して、Slit Park YURAKUCHOでは、ラウンジにある7面のサイネージに、丸の内を走るランナーが時折現れては通り過ぎる姿を映し出しました。また黄色いワゴンからは、ランナーの息遣いや足音といった気配を感じることができる音の仕掛けを用意し、ワゴン内にはランナーが着用するゼッケンが展示されました。これらのゼッケンには、丸の内の歴史や特徴を象徴する言葉や数字がデザインされました。YAU STUDIOでは、「and run めぐる、丸の内。」に関する映像やマップ、新作のドローイングなどが、金沢市でのプロジェクトのために描かれたドローイングとあわせて展示されました。一連の展示を通して、実際に走る体験をした人もそうでない人も、このプロジェクトの背景やコンセプトに触れることができる機会を提供しました。

1 | 二つのコースを用意したランイベントが開催された
2 | まちの歴史に関する数字がプリントされたゼッケンをワゴン内で展示
3 | 展示風景 (Slit Park YURAKUCHO)
4 | 《めぐる、丸の内。ビルヂング・ルート》2024、ドローイング Courtesy of TARO NASU
5 | 展示風景 (YAU STUDIO)
撮影 | 中川陽介 (1, 4, 5) / Tokyo Tender Table (2, 3)



めぐる、丸の内。

2024年1月13日(土) - 20日(土)

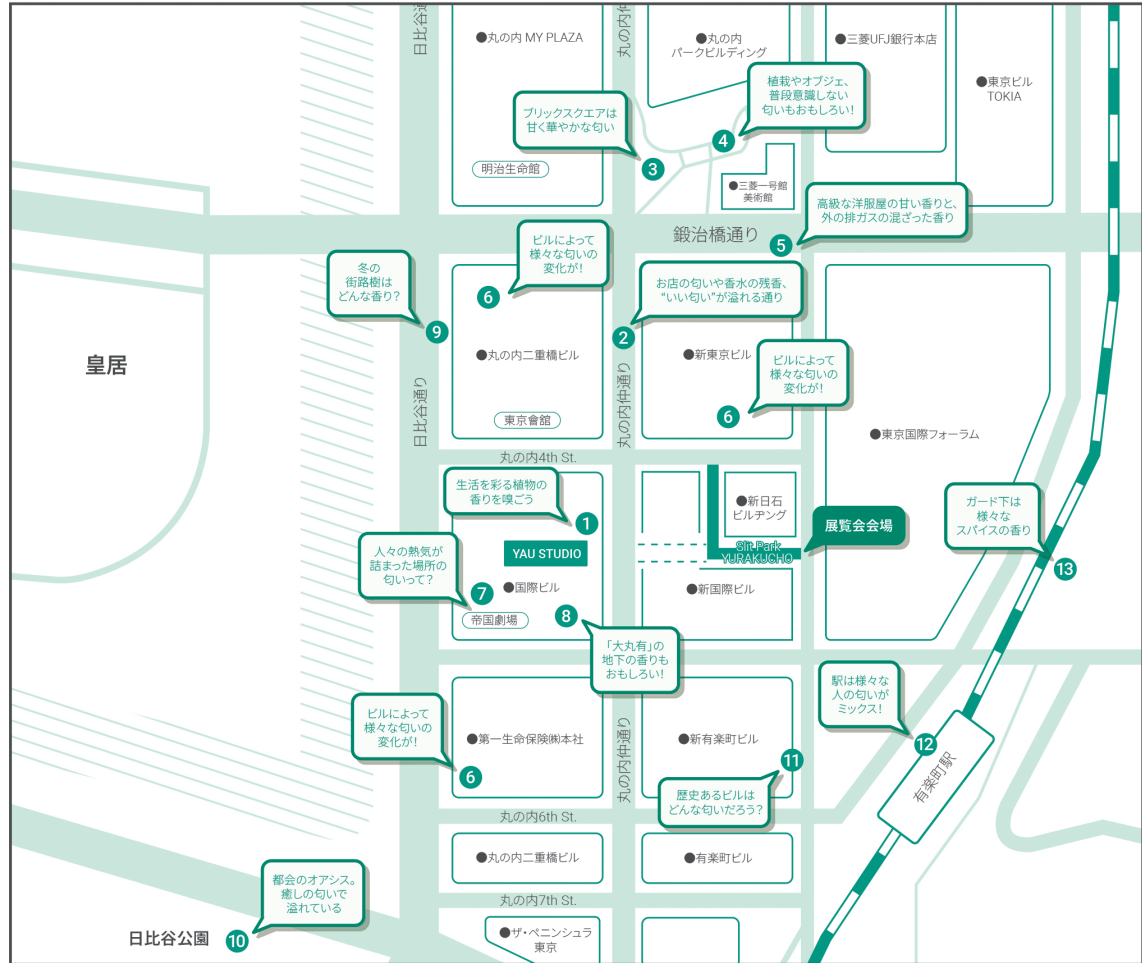


ビジネスの街「大丸有」の匂いをたどる

本プロジェクトは、「街を支えている匂い・ワクワクする（楽しい）匂い・憩いの匂い」にフォーカスして、日常を彩る景色の匂いを嗅ぎ、今まで無意識に過ごしていた街の新たな景色や価値観を発見していきます。

大手町・丸の内・有楽町を意識的に様々なところを嗅ぎながら歩いてみると、歴史を重ねたビルのカーペットやレンガ壁、地下駐車場から時代を超えた空気を感じ、仲通りを往来する人々のエレガントな香りに鼻を奪われたり、レストランから漂うスパイスの香りに異国へバーチャルトリップしてみたり、街路樹の草花から季節の移ろいを覚えたり、歴史・環境・文化の変遷が私たちの記憶をくすぐります。

オフィス空間の匂いや商談者が纏うコロン、ランチで一息つく際のお茶の香りに呼吸を整え、匂いの声を聞くひと時を過ごしてみてください。きっと明日が変わるかも！



おすすめ くんくんスポット

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1 bois de gui (ボワドゥギ)
センス溢れる植物を扱う花屋さん</p> <p>2 丸の内仲通り
多くの人で賑わう丸の内のメインストリート</p> <p>3 丸の内ブリックスクエア
多様なショップ、レストランがある商業施設</p> <p>4 三菱一号館美術館広場
赤煉瓦の建物と彫刻、緑で溢れる空間</p> <p>5 鍛冶橋通り
街に様々な匂いを運んでくる大きな通り</p> | <p>6 「大丸有」ビル内
入った瞬間、様々な匂いを感じれるビル群</p> <p>7 帝国劇場
ルネサンス風のフランス様式を模した劇場</p> <p>8 「大丸有」の地下
地上とはまた違った匂いで溢れる地下</p> <p>9 街路樹
「大丸有」を彩る冬の街路樹</p> <p>10 日比谷公園
公園、図書館、音楽堂など多様な都会のオアシス</p> | <p>11 新有楽町ビル
歴史を感じることができるビル</p> <p>12 有楽町駅
様々な人が溢れ、交差する駅</p> <p>13 有楽町ガード下
多様な飲食店の匂いと電車のガード下の匂いでミックスされた独特の空間</p> |
|--|--|---|

マップ制作 | 戸羽正晴

東京藝術大学キュレーション教育研究センター「展覧会設計演習」企画展

めぐる、
身体。

めぐる、丸の内。 Slit Park YURAKUCHO/ YAU STUDIO 大丸有エリア各所

2024年1月13日(土) | 1月20日(土) | 11時~19時 | 会期中無休 | 入場無料